

松江城城郭呼称について

松江市史編集委員会松江城部会

1. はじめに

松江城の城郭については、史料の選択方法や考え方によって、これまで学術的な論考、報告書あるいは観光的な雑誌、パンフレットなどで様々な呼称が用いられてきた。現在使用されている松江城のパンフレットや城内案内板などで城郭呼称を見ると、近世の絵図や文献に記されているものもあるが、伝承として伝わったのか近代以降の文献でしか確認できないものもある。また、「二之丸下ノ段」のように、当初は便宜的に用いられたものが、今日あたかも正式な名称であるかのように扱われているものもある⁽¹⁾。そこで、本稿では、松江城が城郭として機能した近世の絵図、文献史料を検討し、城郭呼称がどのように記されてきたのか整理するとともに、『松江市史』別編「松江城」で用いる「松江城城郭呼称概念図」の根拠とするものである。

2. 松江城下絵図、城郭図の検討

近世の絵図のうち、松江城の城郭と城郭呼称が記載されている可能性があるものに、松江城下絵図と城郭図がある。松江市史編集委員会絵図地図部会及び松江城部会の悉皆調査によれば、現在確認できる松江城下絵図は114点、城郭図は26点、城郭建物図は36点⁽²⁾であり、このうち絵図としての信頼性があり、かつ城郭呼称が記載されているものは限られている。

今回の検討にあたって用いた絵図は、1. 堀尾期松江城下町絵図、2. 寛永年間松江城家敷町之図、3. 出雲国松江城絵図、4. 出雲国松江城之絵図、5. 松江城及城下古図、6. 松江城縄張図、7. 御本丸二ノ御丸三ノ丸共三枚ノ内、8. 松江城下絵図、9. 御城内絵図面、10. 松江城下絵図、11. 出雲国松江城之図、12. 諸国城郭修復図 出雲国松江城、13. 松江城郭古図、14. 雲州松江御城下之図、15. 松江城下絵図、16. 出雲国松江本城図、17. 出雲国島根郡松江城図である。(番号、絵図の名称は表1に一致)

幕府へ提出する城の修理許可申請文に添付した絵図(幕府収納絵図)、松江藩主家に伝来した絵図、家老等の有力家臣家に伝来した絵図、松江藩・島根県が作成したと考えられる絵図など、絵図として信頼性が高いと思われるものを抽出した。

こうして抽出した絵図の検討により、表記された城郭呼称を整理したものが表1である(城郭区分番号①～⑫の所在は、「松江城城郭呼称概念図」①～⑫に対応)。絵図の名称及び成立年代については、城下絵図は『松江市史』史料編「絵図・地図」により、城郭図は所蔵館名称・年代を基本としつつ松江城部会で検討した。

3. 松江城に関わる文献史料の検討

松江城に関わる文献史料は数多いが、絵図と同様、史料的に信頼性が高いと思われるものを選び、表記された城郭呼称を表2のように整理した。(城郭区分番号①～⑫の所在は、「松江城城郭呼称概念図」①～⑫に対応)。今回の検討にあたって用いた文献史料は、藩主(松平家)の履歴などを一代ごと年代順にまとめた「年譜」、松平家家臣の勤功録である「列士録」、城郭施設について記録した「竹内右兵衛書つけ」「御城内惣間数」「御作事所御役人帳」、近代になって記録された「旧藩事蹟」「雲藩職制」などで

ある。なお、松江城に関する文献史料調査は今後も継続的に続けていくものであり⁽³⁾、文献史料に記された城郭呼称は今後の調査によって新しい事例も確認されると思われるので、あくまで現時点での検討成果である。

4. 『松江市史』別編「松江城」で用いる松江城城郭呼称

松江城城郭呼称に関する絵図と文献史料の総合的な検討を経て、『松江市史』別編「松江城」で用いる基本的な「松江城城郭呼称」については、信頼性が高く、年代的に古いものを基準とすることとした。また、呼称と城郭施設の場所、範囲を特定しやすい絵図を基本とし、補足的に文献史料を用いることとした。

表1で示すように、城郭区分として、①本丸、②二之丸、③三之丸の名称が揃って表記されるのは、「3. 出雲国松江城絵図」が最も古い。この絵図は正保年間（1644～1648）に幕府の命により全国の諸大名が作成を指示されたいわゆる「正保城絵図」の一つでもあることから、表記についても城郭呼称として正当なものと考えられる。また、その後作成された絵図にもこの名称は踏襲されており、①本丸、②二之丸、③三之丸の呼称を基準とする。

「5. 松江城及城下古図」は松江藩家老三谷家に伝来した絵図で、「3. 出雲国松江城絵図」とは作成の目的が異なるものの城郭呼称についてはほぼ一致している。④北之丸は他の絵図では見られない呼称だが、文献史料でも確認でき、また、城郭構成からみると本丸、二之丸、三之丸に並ぶ重要な場所であったと考えられることから、④北之丸を基準とする。

①本丸②二之丸③三之丸④北之丸周辺の城郭呼称については、17世紀の絵図ではほとんど記されていない。城郭の細部に名称を付す必要が生じたのであろうか、⑤腰曲輪、⑥中曲輪、⑧外曲輪、⑨外曲輪、⑩後曲輪とまとめて記されるのは、松平家に伝来した享保5年（1720）頃の「9. 御城内絵図面」⁽⁴⁾からである。⑤腰曲輪、⑥中曲輪、⑧外曲輪、⑨外曲輪、⑩後曲輪の呼称はその後、幕府へ提出した絵図（幕府収納絵図）などに踏襲されることから、この呼称を基準とする。ただし、⑧外曲輪の場所は観光案内・雑誌・報告書等で「二之丸下ノ段」と呼び習わしている場所であるので、「⑧外曲輪（二之丸下ノ段）」と示す。また、⑨外曲輪については、城山稻荷神社の周囲は屋敷地となっており、絵図・文献史料では城郭呼称が確認できない場所もあるが、「松江城城郭呼称概念図」では敢えてその範囲を広げて示した。

⑦の場所は、今日「馬溜」の名称で示される場所である。今回検討の基本とした絵図に城郭名は表記されていないが、この場所が①本丸、②二之丸周辺を囲む外曲輪の一画であること、松平家伝来の『御城内惣間数』に「外郭」と記されていることから、例外的ではあるものの、⑦外曲輪（馬溜）の呼称を付け、基準とする。

⑪三之丸之内、⑫三之丸之内については防御機能のある内堀の外で、松江城部会では藩有地ではあるが城郭施設ではないがとの意見が多かった。しかし、⑪、⑫の空間は「1. 堀尾期松江城下町絵図」にも見られるように、城郭とともに藩や藩主家が利用できる空間として堀尾期から確保されている。また、「3. 出雲国松江城絵図」及びそれ以降も「三之丸之内」の表記が見られ、市民感覚的にも「御花畑」「御鷹部屋」は城郭の一画との意識も強いことから、「松江城城郭呼称概念図」には⑪三之丸之内（御花畑）、⑫三之丸之内（御鷹部屋）を加えている。

なお、「松江城城郭呼称概念図」で示す範囲はあくまで概念的なものである。石垣や傾斜地も城郭施設に含まれるが、概念図では上部の平地部分を示した。

表1 松江城城郭名称一覧（絵図）

番号	絵図の名称	種別	成立年代(推定)	城郭区分(番号①～⑫は「図1 松江城城郭名称概念図」に対応)												備考
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
1	堀尾期松江城下町絵図	城下絵図	元和6年～寛永10年(1620～1633)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	堀尾家伝来 か
2	寛永年間松江城家敷町之図	城下絵図	寛永11年～14年(1634～1637)	本丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	京極家伝来
3	出雲国松江城絵図	城下絵図	正保年間(1644～1648)	本丸	二之丸	三之丸 (侍屋敷)	—	—	二之丸之内	—	—	—	三之丸之内	—	—	幕府収納
4	出雲国松江城之絵図	城郭絵図	延宝2年(1674)	本城	南二ノ郭	別之郭	北二ノ郭	腰之郭	—	北二ノ郭	—	—	—	—	—	幕府収納 (控・写)
5	松江城及城下古図	城下絵図	天和3年～元禄5年(1683～1692)	本丸	二之丸	三之丸	北之丸	—	—	—	—	—	三之丸之内 (下御殿)	—	—	三谷権太夫 家伝来
6	松江城縄張り図	城郭絵図	元禄11年～至永7年(1698～1710)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	松平家伝来 か(松江市 指定)
7	御本丸二ノ御丸三ノ丸共三枚ノ内	城郭絵図	17世紀末	御本丸	二之御丸	三ノ丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	松平家伝来
8	松江城下絵図	城下絵図	宝永2年～正徳3年(1705～1713)	本丸	二ノ丸	三ノ丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9	御城内絵図面	城郭絵図	享保5年(1720)頃	本城	二之曲輪	三ノ丸 (貼紙)	—	腰曲輪	外曲輪	外曲輪	—	—	—	後曲輪	—	松平家伝来
10	松江城下絵図	城下絵図	元文～延享年間 (1736～1748)	本丸	二之丸	三之丸	—	—	二之丸ノ内	—	—	—	—	三之丸ノ内 (用屋敷)	—	松江藩作成 か
11	出雲国松江城之図	城郭絵図	元文3年(1738)	本城	二之曲輪	三之曲輪	出丸	腰曲輪	外曲輪	外曲輪	—	—	—	—	—	幕府収納 (控・写)
12	諸国城郭修復図 出雲国松江城	城郭絵図	安永2年(1773)	本城	二之曲輪	三之曲輪	出丸	腰曲輪	外曲輪	外曲輪	—	—	—	—	—	幕府収納 (控・写)
13	松江城郭古図	城郭絵図	安永7年(1778)	本城	二之曲輪	三之曲輪	出丸	腰曲輪	外曲輪	外曲輪	—	—	—	—	—	幕府収納 (控・写)
14	雲州松江御城下之図	城下絵図	文政8年～天保2年(1825～1831)	御本丸	二御丸	三御丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15	松江城下絵図	城下絵図	天保年間(1830～1844)頃	—	—	三之丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
16	出雲国松江本城図	城郭絵図	元治元年(1864)	本城	二之曲輪	三之曲輪	出丸	腰曲輪	外曲輪	外曲輪	—	—	—	—	—	幕府収納
17	出雲国島根郡松江城図	城郭絵図	明治14年(1881)製 図	本城	二城	三城	—	中郭	外郭	外郭	—	—	三ノ丸内 (御花島、御 山腰)	三ノ丸(御 金蔵、新御 殿)	—	島根県作成 (島根県令 第2部)

絵図の選定にあたって、江戸幕府収納絵図、松江藩主家(堀尾家・京極家・松平家)伝来絵図、松江藩家老家伝来絵図、松江藩家老家伝来絵図、松江藩・島根藩・島根県作成絵図など、信頼性が高いと思われるものを選定の基準とした。
 絵図の名称及び成立年代を示すにあたって、城下町図「松江市史」史料編「絵図・地図」により、城郭図は「所蔵館名称・年代」を基本とし、松江城部会で検討して決定した。
 網掛け部分は、『松江市史』別編「松江城」で用いている「松江城城郭名称概念図」作成にあたっての根拠箇所を示す。

表2 松江城城郭呼称一覧（文献史料）

番号	文献史料の名称	和 暦	西 暦	城 郭 区 分 (番号①～⑫は「図1 松江城城郭名称概念図」に対応)												①～⑫に未 確定	成立年代 (推定)	所 蔵	出 典	備 考	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫						
1	『竹内右兵衛書つけ』			御本丸中	二御丸中	—	—	—	—	—	—	御本丸二 丸下ノ段	—	—	—	—	—	1713	松江歴史 館	『松江城研究』	竹内右兵衛家伝束
2	『御城内惣間敷』			御本丸	二之御 丸、二ノ 御丸	三之御丸	外 廓	腰曲輪、 腰塀、腰 御廊、	中 廊	外 廓	中廊、 中御廊、	外 廓	外 廓	—	—	—	—	1766	国文学研 究史料館	『松江城研究』	松平家伝束
3	『雲州松江起事』			御本丸中	二ノ御丸	三ノ御丸	—	—	—	—	—	—	外曲輪	—	—	—	享保18年 頃	大阪市立 大学	『松江史 史料編6 近世Ⅱ』	渡幸が松江藩在中 に筆写したもの	
4	『旧藩事蹟』			本 丸	二ノ丸	三ノ丸	出丸、後山	腰曲輪	—	馬溜、 馬出し	—	—	外曲輪	後廊	御花畑	御蔵部 屋	明治～大 正	国文学研 究資料館	『山梨田松江松平家 文庫』	松平家書未家臣重 村俊介の私文書	
5	『宗衍年譜 二』	延享2	1745	ホンマル 中 城														島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
6	『松江藩列士録』 勝部丹藏	弘化4	1847	御本丸														島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』勝部五郎	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
7	『家譜 上』	寛文9	1669		二 丸													島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
8	『宗衍年譜 二』	延享2	1745		二ノ丸 マ ル 城													島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
9	『宗衍年譜 三』	寛延1	1748		第二ノ郭													島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
10	『御作事所御役人帳』	宝暦2	1752		二 丸														『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
11	『松江藩列士録』 小林佐平太	嘉永4	1851		二 丸													島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』小林祖一郎	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
12	『綱隆年譜 全』	延宝2	1674				キタクルフ 北ノ廓											島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
13	『吉透年譜 全』	延宝3	1675				後 山											島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
14	『旧藩事蹟』	延宝3	1675				ヨシ 後 山												『旧藩事蹟』中原先生 書き下し本		
15	『嗣近年譜 上』	元禄4	1691				北廓(之ヲ北ノ テ 出丸ト謂フ)											島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
16	『御作事所御役人帳』	元禄7	1694				後 山												『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
17	『雲藩職制』	元禄9	1696				後 山												『雲藩職制』		
18	『綱近年譜 下』	宝永1	1704				北 郭											島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
19	『綱近年譜 下』	宝永6	1709				北ノ丸											島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
20	『雲国侯年譜 参』	享保18	1733				北 丸											島根県立 図書館	『雲国侯年譜(中島 家所蔵)』	松江藩家臣中島家 所蔵	
21	『松江藩列士録』 佐藤繁右衛門	寛延2	1749				後 山											島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』佐藤四郎	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
22	『松江藩列士録』 佐藤繁左衛門	寛延3	1750				後 山											島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』佐藤四郎	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
23	『松江藩列士録』 三成伴六	文化1	1804				後 山											島根県立 図書館	『松江藩列士録第6 巻』三成伴六	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
24	『家譜 上』	延宝2	1674			三ノ丸												島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
25	『御作事所御役人帳』	元禄3	1689			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
26	『御作事所御役人帳』	元禄10	1697			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
27	『御作事所御役人帳』	享保8	1723			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
28	『御作事所御役人帳』	享保11	1726			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
29	『御作事所御役人帳』	享保16	1731			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
30	『松江藩列士録』 岡重七	寛延2	1749			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』岡重左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
31	『松江藩列士録』 香田彦吉	宝暦5	1755			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』香田左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
32	『御作事所御役人帳』	宝暦9	1759			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
33	『松江藩列士録』 香田彦吉	宝暦9	1759			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』香田左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
34	『松江藩列士録』 安藤喜与七	明和3	1765			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』安藤喜与七	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
35	『御作事所御役人帳』	明和3	1766			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
36	『御作事所御役人帳』	明和5	1768			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
37	『松江藩列士録』 香田彦吉	明和5～6	1768～ 1769			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第5 巻』香田左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
38	『松江藩列士録』 山門吉四郎	安永2	1773			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第4 巻』山門平左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
39	『御作事所御役人帳』	天明6	1786			三 丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
40	『御作事所御役人帳』	天明8	1788			三ノ丸													『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
41	『松江藩列士録』 岡重左衛門	文政11	1828			三 丸												島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』岡重左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書	
42	『宗衍年譜 一』	享保18	1733	ホンマル 中 城												二ノ丸 マ ル 城		島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
43	『家譜 上』	延宝2	1674													北ノ廓		島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
44	『綱隆年譜 全』	延宝2	1674													クルフ 北ノ廓		島根県立 図書館	『松平家旧蔵家譜』	松平家伝束	
45	『雲国侯年譜 四』	安永2	1773													外曲輪		島根県立 図書館	高根県立図書館所蔵 『中島家蔵』	松江藩家臣中島家 所蔵	
46	『雲藩職制』	享保18	1733																『雲藩職制』		
47	『松江藩列士録』 岡仙左衛門	明和2	1765																島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』岡重左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書
48	『松江藩列士録』 岡仙左衛門	天明7	1787																島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』岡重左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書
49	『松江藩列士録』 岡仙左衛門	天明8	1788																島根県立 図書館	『松江藩列士録第2 巻』岡重左衛門	松平家歴代家臣の 系譜と勤功の書
50	『御作事所御役人帳』	安永3	1774																『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
51	『出入捷覧』	天明8	1788																『松江藩出入捷覧』	松平家伝束	
52	『御作事所御役人帳』	天明9	1789																『御作事所御役人帳』	松江藩御作事所御 役人頭が書留めた帳簿	
53	『出入捷覧』	天保11	1840																『松江藩出入捷覧』	松平家伝束	

[松江城の城郭呼称についての検討経過]

松江城の城郭呼称については、松江城部会松江城城郭呼称検討会、城郭史グループ会、松江城部会査読検討会、史料編纂室文献検討会など、多様な角度から検討を加え、松江城部会の総意においてまとめたものである。検討経過は以下の通り。

(2014. 4. 18 松江城城郭呼称検討会) (2014. 7. 16 松江城部会城郭史グループ会) (2014. 8. 24 松江城部会)
(2014. 10. 29 松江城城郭呼称検討会) (2014. 12. 1 松江城城郭呼称検討会) (2014. 12. 14 松江城部会査読検討会)
(2015. 1. 20 史料編纂室文献検討会) (2015. 2. 6 松江城城郭呼称検討会) (2015. 2. 22 松江城部会) (2015. 5. 10
松江城城郭呼称検討会) (2015. 6. 24 松江城部会城郭史グループ会) (2015. 8. 30 松江城部会)

【検討参加者 西尾克己、中井均、松尾信裕、山上雅弘、乗岡実、先山徹、堀田浩之、岡崎雄二郎、和田嘉宥、渡辺理絵、足立正智、河原荘一郎、渡邊正巳、西島太郎、飯塚康行、赤沢秀則、稲田信、内田文恵、北村久美子、石塚晶子、福井将介】

注

- (1) 「二之丸下ノ段」という呼称は、文献史料の『竹内右兵衛書つけ』に「御本丸二丸下ノ段」と記載されているが、地区を区分するために島田成矩氏により「御本丸二丸下ノ段」を便宜的に「二之丸下ノ段」と用いられて以降、この呼称が一般的に使われている。(島田成矩1975「松江城の城郭について」『島根県文化財調査報告』第10集 島根県教育委員会)
- (2) 松江市史編集委員会松江城部会、絵図・地図部会の調査による。本号掲載大矢幸雄・和田嘉宥「松江市域の絵図・地図目録(中間報告)」参照
- (3) 松江市史料編纂室では松江城に関する文献(刊本)調査、文献史料調査を進めており、今後も継続的に資料・史料収集を進めていく予定である。
- (4) 和田嘉宥2013「松江城城郭施設の推移について」『松江城研究』2 松江市教育委員会

松江城城郭呼称概念图

